

学校教育目標	◎豊かな知性と健やかな心身をもち、夢に向かってチャレンジする子 ○優れた知性と知恵をもち、自ら進んで問題に取り組み、主体的に判断し行動できる子を育てます。(知) ○豊かな情意をもち、社会を愛し、友達と協調・協働できる子を育てます。(徳) ○健康な心と体をもち、命を大切に、明るく元気にたくましく生きる子を育てます。(体) ○わがまち市ヶ尾を愛し、地域の一員として、地域と共に生きる子を育てます。(公) ○進取の精神と多様性をもち、社会の変化に積極的にいかかわっていかうとする子を育てます。(開)					
	学校概要	創立 42 周年	学校長 後明 好美	副校長 山本 慶子	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 5
児童生徒数: 540 人		主な関係校: 市ヶ尾中学校 荏田西小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
<言語能力> <自分づくりに関する能力>	市ヶ尾中学校 荏田西小学校 東市ヶ尾小学校	多様性を認め合い、共に支え合うことができる子ども 笑顔と挨拶があふれる子ども ・ブロック教務主任会を中心とした、9年間で育てる子ども像と資質・能力を意識した行事の推進。 ・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施。 ・児童・生徒の主体性を尊重した取組の推進。

中期取組目標	「笑顔いっぱい 全力チャレンジ」の学校にします ○子どもの笑顔、職員の笑顔、保護者・地域の笑顔を大切にします。 ・問題解決や学び合いの場を大切に授業づくり、個に応じた学習や支援の充実で、安心できる環境をつくります。 ・学校組織マネジメントを推進し学校経営への参画意識を高め、やりがいのある職場づくりをめざします。 ・十分な情報発信による保護者・地域の信頼を得、地域の教育力を生かした地域参画型学校運営を進めます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確した授業づくりをする。本時のめあての確認と振り返りの時間を取り入れ、子どもが主体的に学習を進められるようにする。
担当	A会議	
徳	豊かな心	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する。 ②自分の思いを書いたり、話したりする活動の中で自分自身を見つめたり、なりたい自分をイメージしたりすることができるようにする。
担当	道徳部	
体	健やかな体	①「手洗い」や「咳エチケット」「マスクの着用」などの指導を行うことで、自分たちにもできる感染症予防について気付かせ、より一層日常生活と保健学習とを関連付けた取組を行う。②体育の授業以外の時間も活用し、全校児童の体力向上の取組を積極的に行う。新しい生活様式に則った、休み時間を利用した体力向上を図る。③新体力テストの結果を家庭にも発信し、学校生活だけでなく、日常生活においても運動に親しむ態度を養う。
担当	体育部	
公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
担当	生活・総合部	
いじめへの対応		①Y-Pアセスメントの実施、「子どもの社会的スキル横浜プログラム」の活用で、気になる子への支援検討を行い、いじめアンケート及個人面談実施で、いじめの早期発見、対応に努める。②いじめ防止対策委員会を定期的に開催し、職員会議等での情報共有を確実にに行い、適切な指導を行う。
担当	B会議	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①研修部、メンター研等を中心に、自ら課題意識をもち、研修を計画、実施するとともに、個に応じた研修を奨励する。②組織再編成で、会議の効率化を図るとともに、職員の学校運営参画意識を高め、各組織の活動の質的向上を目指す。③校内LANの打ち合わせ機能を生かし、効率的で確実な情報共有を図り、会議時間を削減する。
担当	D会議	
特別支援教育		①支援が必要な児童について全職員で共通理解を図り、特別支援教育コーディネーターを中心に、どの児童も安心できる「基礎的環境整備」と「合理的配慮」を推進する。②個別支援学級と一般学級の連携を密にし、連絡の徹底や事前・事後の打ち合わせを行い有意義な交流学习を進める。
担当	B会議	
児童指導		①「ヒガイチールブック」を見直し、全職員で内容や指導のし方についての共通理解を図り、指導にあたる。②打ち合わせ等での児童についての情報交換を確実にに行い、全職員が児童を理解できるようにするとともに、学年、専科、養護教諭、児童支援専任等と連携し組織的に適切な指導を行う。
担当	B会議	
地域連携		①学校・家庭・地域の協働関係による「国際交流教室」や「農業体験学習」、「総合防災訓練」等の継続・充実を図り地域の教育力を生かすとともに、地域を愛する心情や思いやりの気持ちを育成する。②学校・地域コーディネーター制度を導入・活用し、地域連携の組織化・効率化を図る。
担当	主幹部	
a15		a25
担当		